

環境副教材 ワーキンググループの先生よりいただいたご意見から

| いただいたご意見 | 今年度改訂時の対応策 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 環境副教材の配布時期が、繁忙期の4月のため、ゆっくり目を通す時間がない。 何か副教材を活用しようと考えたタイミングで、大量の副教材が学校に届いている中、環境副教材の存在を見逃してしまうことがある。 先生方への周知に工夫が必要。年度初めに先生方のクロームのブックマークにさえ入れることができれば、活用する先生は増えてくると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> 先生方の興味を引いてもらえるよう、通知文の内容、周知の方法について工夫を行う。 4月の送付時以外にも、年度の途中で学校に環境副教材の活用依頼文を送付し、環境副教材の認知度の向上を図る。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 「環境副教材」というタイトルから、教科書の科目とは関係ない（総合的な学習の時間に関するもの）と思われ、使用の優先順位を下げられている可能性がある。 教科書との関連する学習内容を一覧化した資料が手元にあると、環境副教材に手が伸びやすくなると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> 現状、1・2年生の手引書の目次のみに掲載している活用対応表を他学年分でも充実させる。 手引書の表紙に、関連する教科名及び教科書との活用対応表が掲載されていることを明示する。 4月の送付時、通知文に活用対応表を添付し、いちいち手引書を開かなくても教科書との関連ページを確認できるようにする。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにネット検索で調べさせている先生も多いが、子どもたちが内容を理解しないまま、ネットの記載文をそのまま書き写し、理解したつもりになっているケースも見受けられる。 クロームブックでタップして環境副教材のページに遷移し、そこで「ごみ」「雪」などカテゴリに分かれ、そこをクリックすると関係するページが展開されると良いかもしれない。 | <ul style="list-style-type: none"> 環境副教材内に、各単元の内容に関連する（深掘りした学習や動画視聴が可能な）ホームページの二次元コードを掲載する。 現状、環境副教材は同一のホームページに、單元ごとにデータを分割して掲載しているだけであるが、これをカテゴリごとに分けて掲載する等、ホームページの掲載の工夫を行う。 |

<その他、いただいた意見（今後の要検討事項など）>

- 同じ札幌市の中でも各部署で様々な副教材を制作しているが、HP上にバラバラに掲載しているため探しづらい。副教材が一覧になって載っているページがあるといいのでは。
- 環境副教材を活用した授業の展開例など載っていると、使ったことのない先生方も活用しやすいのでは。
- クロームブックのアプリ「ムーブノート」と上手く連携できると活用の芽が生まれるのでは。
- 机にクロームブック・教科書・ノートを置いてしまうと、スペース上、さらに別の冊子を置くのが難しくなる。
- 環境副教材は多くの部署が関わって毎年改訂されているため、データが常に最新という強みがあると思う。